

「実学」主体の訓練で 即戦力人材を育成

東京都立城南職業能力開発センター

設置・運営●東京都

所在地●東京都品川区東品川3-31-16

訓練課程●

・求職者のための訓練（訓練期間）

木工技術科（1年）、インテリア設計施工科（1年）、電気工事科（1年）、OAシステム開発科（1年）、若年者就業支援科（建築塗装コース1年）、ビルクリーニング管理科（6カ月）、配管科（6カ月）、マンション改修施工科（6カ月）、介護サービス科（6カ月）、設備保全科（6カ月）、マンション維持管理科（3カ月）、実務作業科（1年）

・在職者のための訓練等

能力向上訓練等 約80コース



東京都立城南職業能力開発センター（以下、城南センターという）は、東京都が設置する四つの職業能力開発センター校のうちのひとつ。城南地域の人材確保・育成の拠点として公共職業訓練と企業支援を体系的に行っている。

昭和15年に東京府幹部機械工養成所として開校以来、品川高等職業訓練校・品川技術専門校と名称変更を経て、平成19年に現校名となる。りんかい線・品川シーサイド駅から徒歩2分、京浜急行・青物横丁駅から徒歩10分の場所にある。

城南センターの理念

センターの理念について訓練課長の南茂昭彦氏は「本校は、戦前に東京府の幹部養成校として開校しました。現在、訓練生に少しでも有利な条件で企業等に就職していただくことを目的として、職業に必要な知識・技術・技能を身につけてもらうべく、訓練をしています」と語る。

公共職業訓練としては、求職者、離転職者向けに、建築及び施設設備系を中心に12の訓練科目を設置しており、業界が求める技術・技能の革新に対応した訓練を実施して、求職者の就職を目指している。また、在職者のための短期的な能力向上訓練、企業支援として研修・検定等へ施設の貸出サービスや、希望・要望に応じた講習会を企画・実施している。

城南センターには、大田校（大田区本羽田）もある。

「大田校は、機械系のものでづくりを中心とした科目構成で職業訓練を実施しています。また、城南センターと一体となり、地域社会や地域住民に開かれた機会や場を提供する施設として運営しています」（南茂課長、以下同）

教育訓練の特徴 取得できる資格と就職支援体制

城南センターでは、「実学」を主体としており、技術・技能を身につけるための実習を授業時間の5割以上実施している。また、企業等と連携したインターンシップや校外実習など、就職に役立つ実践的な訓練を行っている。指導体制は、22人の専任指導員のほか、それぞれの専門分野に応じた約140人の非常勤講師からなる充実した陣容となっている。いずれも、特に実技に通じた各分野の優秀な専門家をそろえている。

その指導員や講師と訓練生のつながりについては、「本校の特徴として、指導員・講師と訓練生との強いつながりが挙げられます。指導員・講師は皆、熱意を持って企業等の求める即戦力となる人材の育成に当たっていて、訓練生もその熱意に応えようと一生懸命努力をしています」と語る。

訓練修了、技能照査試験合格または校内試験合格等により取得が可能な資格がある。

「木工技術科」、「OAシステム開発科」は技能士補、「インテリア設計施工科」は技能士補、二級建築士試験・木工建築士試験 指定科目修得単位証明書・修了証明書及び携帯用丸のこ盤取扱安全教育修了証、「電気工事科」

は技能士補、第二種電気工事士及び低圧電気取扱特別教育修了証、「若年者就業支援科（建築塗装コース）」は、東京都技能士補、足場の組立て等の業務に係る特別教育修了証、「配管科」はガス溶接技能講習修了証、アーク溶接特別教育修了証、「マンション改修施工科」は携帯用丸のこ盤取扱安全教育修了証、自由研削砥石特別教育修了証、「マンション維持管理科」は低圧電気取扱特別教育修了証、「介護サービス科」は、実務者研修修了証明書等の取得が可能となる。

就職支援では、専任の就職支援アドバイザーが指導員と連携して求人開拓を行うほか、きめ細かい職業相談などの各種就職対策を行っている。

入校希望者へのメッセージ

城南センターに入ると校舎、教室の壁や床のきれいに気づく。

「実は、実習として訓練生が壁の塗装や壁紙施工、校内のクリーニングを実施しています。特に、クリーニングについては、品川シーサイド駅や近隣の中学校でも実習させていただき、非常に好評を得ています」

昨年から大田校と共同で、高校生等を対象とした見学・体験イベントであるバスツアーも実施している。

「おかげさまでバスツアーは、生徒さんやご父兄から高評価をいただきました。もちろん通常の施設見学・授業見学も随時行っています。早期就職を目指している方は、ぜひ一度本校に足を運んでください。訓練風景や就職支援体制をご覧いただければ、安心して入校していただけたと思います」